

第9回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 令和元年9月24日（火） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員11名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員4名
【傍聴者】1名

4 議 事

(1) 長寿命化改修・増築校舎について

9月10日の部会で、副部会長より、準備委員会委員有志による検討を受けて基本設計の業者協議（3回目）を行った経過を説明していただきました。その後2回の業者協議を経て、案としてまとめた図面について以下のとおり報告いただきました。

(副部会長報告)

- ・学校としては、児童生徒教職員全員が集まれる空間を設けることは優先度が高いと判断し、プレゼンルームの面積を敷地境界いっぱいまで拡大してそのスペースを確保した。現在の多目的ホールの代替のような利用を考えている。現在の多目的ホールよりも80㎡程度広くなる案としている。
- ・コミュニケーションルームも以前の案より拡大し、地域のコミュニティスペースとしてボランティアの方に利用していただいたり、放課後児童クラブの利用したりすることを想定し、湯沸しコーナーを設ける案としている。
- ・技術室は、前回の部会では長寿命化校舎の1階の端の位置にしていたが、できればもう少し広いスペースで木工作业等を想定して1階に配置できないか検討し、現在の図書室の位置に配置してはどうかと考えた。これに伴い、図書室は、現在の多目的ホールに移す。また、各階に少人数教室を1室ずつ確保できることになる。
- ・その他、十分な広さが必要な特別教室については、増築棟に配置して広さを確保することとしており、この程度の広さであれば日々の授業はできるのではないかと考えている。

報告を受けて、図面をもとに検討を行い、次のような意見が出ました。

(委員意見等)

- ・プレゼンルームの利用に際して十分な広さかどうかの判断が難しい。具体的にどの程度というのは言えないが、感覚的にもう少し広がれば良さそうである。
- ・農道側には設計上、いっばいに広げてもらっている。また、教育委員会によると農道側に拡張することは、費用面や、諸々の手続きや手順を総合的に踏まえるとスケジュールも含めた見通しが難しく、敷地内に収めることを前提に検討してほしいと伺っている。
- ・渡り廊下の工夫で何とかならないか。例えば、トイレの位置を反対側にすれば、増築棟をもう少し校舎側に拡張することができるのではないか。
- ・2階の吹き抜け部分に面した通路が若干広くなっており、プレゼンルームを見下ろせる案になっているが、このスペースをもう少し広げることができればより良いと思う。

(部会長総括)

長寿命化改修・増築校舎の教室配置の方向性については、この図面を基本として進めていく方向で27日の準備委員会に提案する。ただし、教育委員会に増築棟についてもう少し長寿命化校舎側に拡張できるように渡り廊下の工夫を要望し、学校と設計協議を継続してもらうこととする。

6 その他

・次回の部会を、10月15日(火)19:00~20:30 江山人権福祉センターで開催。